CP3用ファンユニットINF-CP3J8-S P30
取付・取扱説明書

このたびはCP3用ファンユニットをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

●この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの説明書をよくお読みになり、充分に理解してください。
●この説明書は保守の際に必要となりますので必ず保存してください。

－－－－－－－－－目　次－－－－－－－－－

Ⅰ．　製品仕様

製品名	INF-CP3J8-S P30
適用機種	CP3J5～J8,CP3JH5～JH8
電　源	1 φ 200 V 50／60 Hz
消費電力	22／23W
風　量 [m³/h]	180／192
騒音値 [dB (A)]	46／47
重　量 [kg]	11
塗装色	マンセル10Y9/0.5近似
使用周囲温度	0～40℃
使用周囲湿度	75%RH以下
付属品	取付金具　４ケ 取付ビスＭ５×１５　４本 コードクランプＤＫＮ－１３Ｇ　２ケ 気水分離チーズ　１ケ 蒸気ホースDS60 0.3m　１本 ホースバンドDS60　２ケ 蒸気ホースφ２２×φ３１　0.1m　１本 ホースバンドφ３２　２ケ 凝縮水ホースφ１２×φ１８ 1.2m　１本 凝縮水ホースφ１２×φ１８ 2.0m　１本 ホースバンドφ１９　４ケ

Ⅱ.＜取付及び取扱＞安全上のご注意

●＜取付及び取扱＞は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。

●ここに示した注意事項は、⚠警告 、⚠注意 に区分していますが、誤った取付をした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいものを特に ⚠警告 の欄にまとめて記載しています。しかし、⚠注意 の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●取付工事完了後、試験運転を行い、異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
また、取付説明書と、取扱説明書は、共にお客様で保管頂くように依頼してください。

⚠警　告

●取付は、お買上げの販売店又は専門業者に依頼してください。ご自分で取付工事をされ不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。

●取付工事は、取付説明書に従って確実に行ってください。取付に不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

●取付は、重量に十分耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、機器の落下により、ケガの原因になります。

●台風などの強風、地震に備え、所定の取付工事を行ってください。取付工事に不備があると転倒などによる事故の原因になることがあります。

●電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」及び取付説明書に従って施行し、必ず専用回路を使用してください。電源回路容量不足や施行不備があると感電、火災の原因になります。

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災の原因になります。

●配線は浮き上がらないように整形し、端子台へ確実に締込んで取付けてください。
端子台の締込みが不完全な場合は発熱、火災の原因になります。

●改修は、絶対にしないでください。また、修理は、お買上げの販売店にご相談ください。修理に不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。

●水道法、消防法、高圧ガス取締法、毒物劇物取締法に規制される部材の取扱については専門業者に依頼してください。

⚠注　意

●アースを行ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アース線が不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

●漏電ブレーカの取付けが必要です。
漏電ブレーカが取付けられていない場合は、感電の原因になることがあります。

●ドレン配管は、取付説明書に従って確実に排水するように配管し、結露が生じないように保温してください。
配管工事に不備があると水漏れし、家財を濡らす原因になることがあります。

●長期使用で取付台等が傷んでいないか注意してください。傷んだ状態で放置すると、機器の落下につながり、ケガ等の原因になることがあります。

●メンテナンスをする時は必ず運転を停止して、必ず電源を全て切ってください。電源を全て切らないでメンテナンスすると、ケガや感電の原因になることがあります。

●正しい容量のヒューズ以外は使用しないでください。針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

Ⅲ．　設置上のご注意

ファンユニットを付属ホースでは届かない位置に設置する場合は、別途下記部品が必要です。

部　品　名	INF-CP3J8-S P30
蒸気ホースDS60　（最大4m）	1本
凝縮水ホース	1本

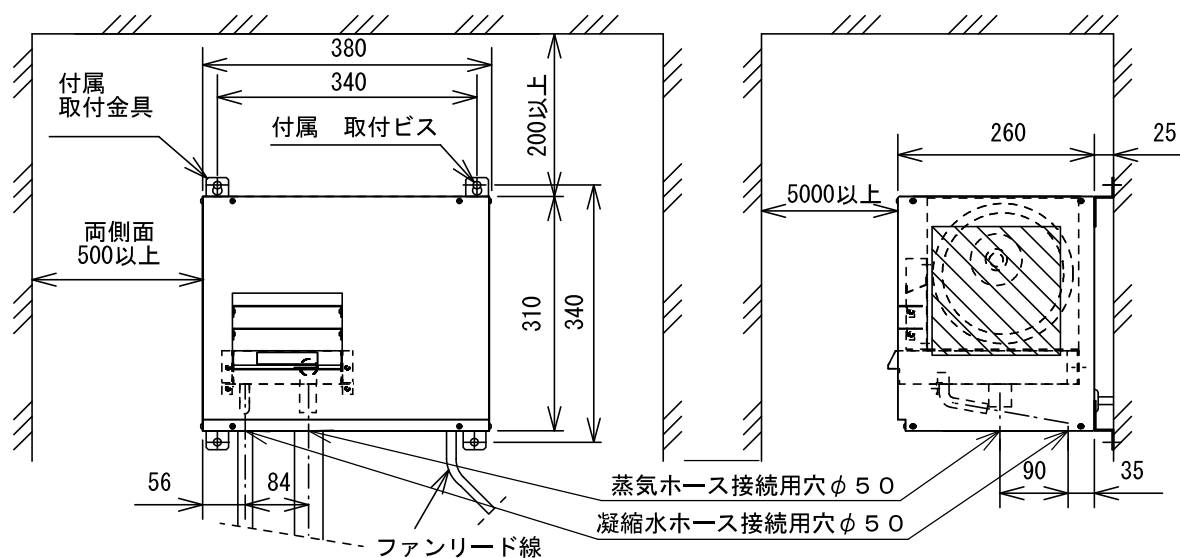
Ⅳ．　取付方法

１．取付け場所の選定

取付ける壁面は異常な振動や騒音を生じないようしっかりした壁面を選んでください。

又、付近の天井や吹出方向の障害物が結露したり変質したりしないよう周囲スペースはできるだけ広くとってください。

２．取付け方

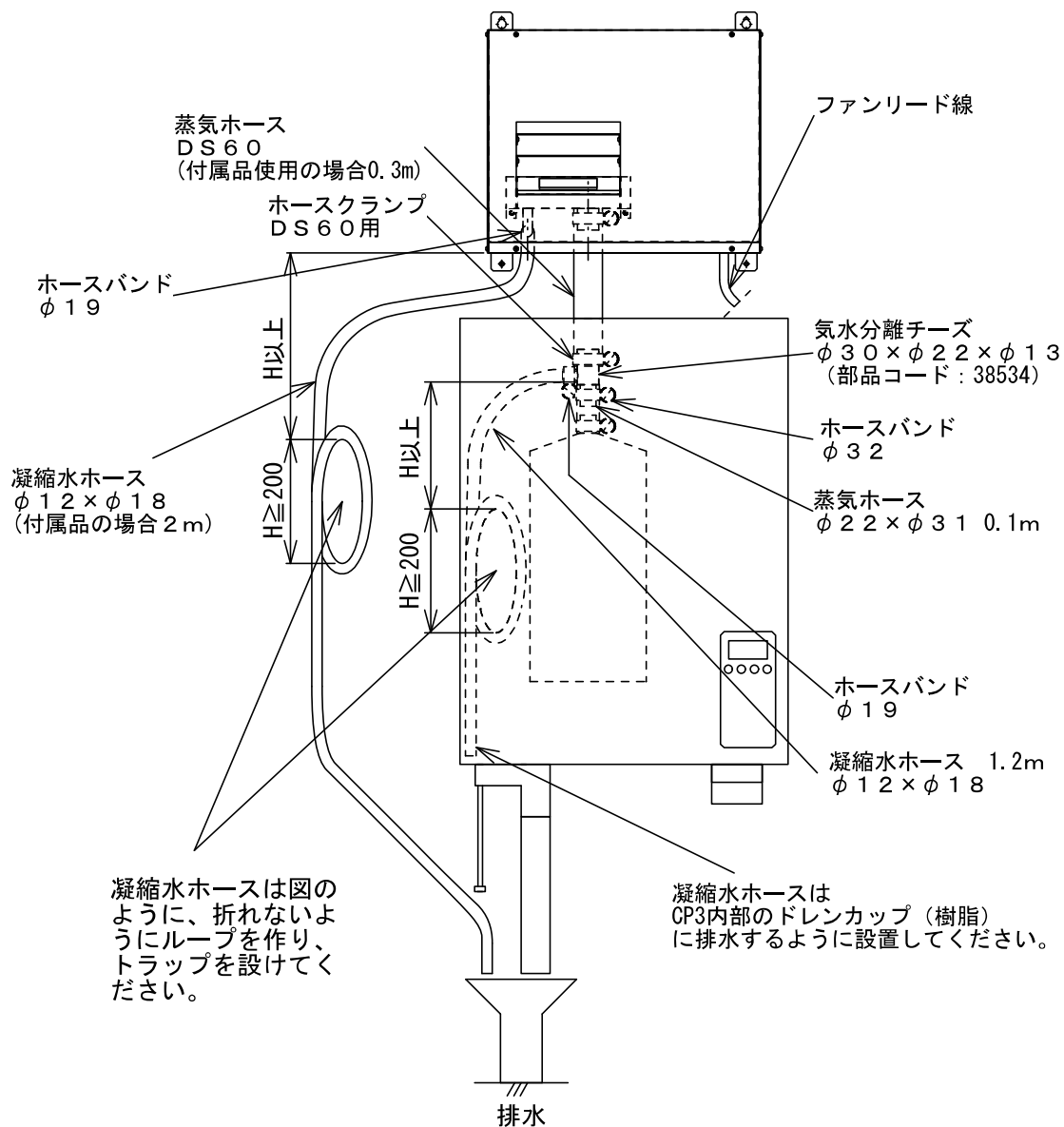
①下図を参照して壁面にファンユニットをビス止めする。

＜ファンユニット取り付け図＞

②左側面のカバー止めビスをはずしてカバーをはずす。

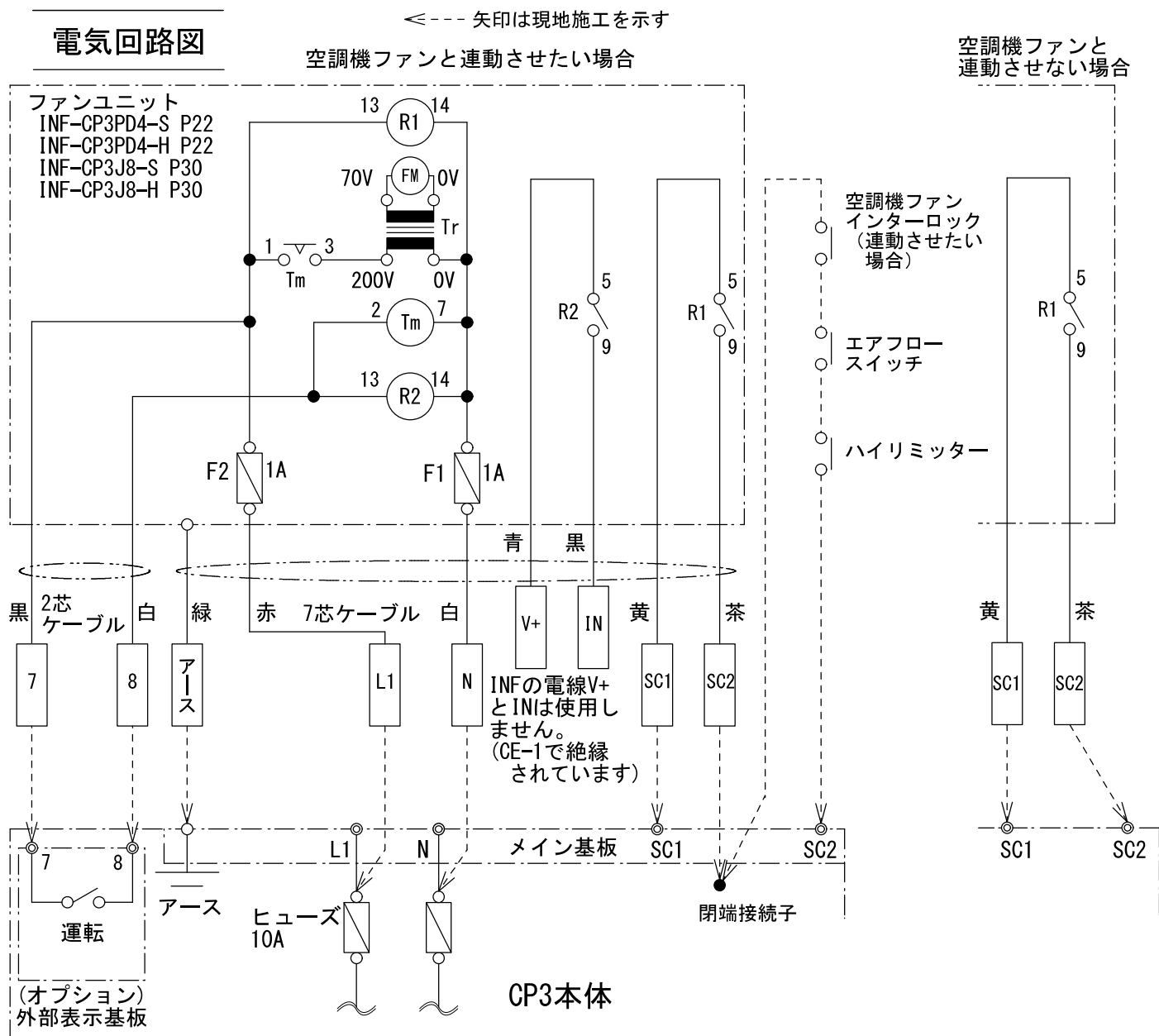
③付属の蒸気ホースφ22×φ31 0.1mと気水分離チーズ、凝縮水ホース
φ12×φ18 1.2mを下図のようにそれぞれホースバンドで固定する。

④蒸気ホースDS60を適当な長さに切断し、気水分離チーズとINFの蒸気ホース
接続部にホースバンドで固定する。
凝縮水ホースも適当な長さに切断し、下図のようにホースバンドで固定する。

加湿器本体とファンユニットを離して設置する場合、蒸気ホ―スは凝縮水の
溜まりができないように、２０％以上の上り勾配をつけてください。

凝縮水ホースは蒸気が排出されないようにトラップにして、ドレンは排水し
てください（凝縮水の溜まりができないように勾配をつけてください）。

④電線（0.75mm² 7芯ケーブル、0.75mm² 2芯ケーブル）を加湿器内端子台に接続
する。（回路図は5ページ参照）

Ⅴ．　電気配線

下記の電気回路図に従って加湿器と接続してください。

Ⅵ．　動作説明

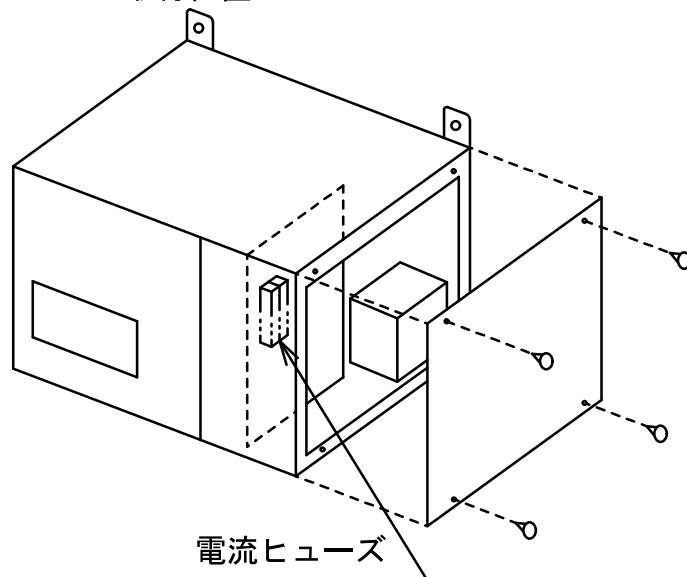
●加湿器の運転と同時にファンの運転が開始します。

●加湿器が停止するとタイマーにより2分後にファンが停止します。
（残留蒸気が天井に結露するのを防止するためのファン残留運転です。）

●フィルターにホコリが詰まりますと、風量が低下し蒸気が上にあがります。
ご使用中は２週間毎に掃除をしてください。ホコリは電気掃除機をお使いになるか軽くたたいて、落としてください。
汚れがとれなくなったり、ほころびたりしたら、交換してください。
交換目安は１年です。

Ⅶ.　調子がおかしい時

内　容	原　因	処　置
ファンが回らない	電流ヒューズが切れている	ヒューズ切れの要因を取り除いたあと、交換する
ファンが停止しない	ファンは２分後に停止	通常運転です
風量が低下している 蒸気が上にあがるようになった	フィルターに埃が付着している	フィルターの清掃を行ってください
蒸気が出ない	加湿器への信号がきていない	信号がくると蒸気がでます（沸騰するまで約２０分かかります）
	加湿器の温度ヒューズが切れている	ヒューズ切れの要因を取り除いたあと、交換する
	インターロックが働いている	加湿器メイン基板のSC1,SC2に接続している、空調機ファンインターロック、エアフロースイッチ、ハイリミッター等の接続機器のインターロックを解除して下さい。

電流ヒューズ取付位置

ピーエス工業株式会社
東　京　〒151-0063　東京都渋谷区富ヶ谷１－１－３　TEL 03-3485-8811　FAX 03-3485-8833
名古屋　〒465-0025　名古屋市名東区上社２－１６８　TEL 052-775-7621　FAX 052-775-3375
大　阪　〒564-0062　吹田市垂水町３－１６－３　TEL 06-6338-7151　FAX 06-6338-7187
福　岡　〒810-0802　福岡市博多区中洲中島町３－１０　TEL 092-281-9200　FAX 092-281-9233
熊　本　〒860-0028　熊本市中唐人町１番地　TEL 096-356-2201　FAX 096-356-2269

ピーエスグループ各社
札　幌　〒061-1112　北広島市共栄４１－３　TEL 011-372-7601　FAX 011-372-8886
盛　岡　〒020-0013　盛岡市愛宕町１６－５　TEL 019-653-3780　FAX 019-653-3784
仙　台　〒980-0822　仙台市青葉区立町２０－１４　TEL 022-211-5431　FAX 022-211-5434
東　京　〒151-0063　東京都渋谷区富ヶ谷１－１－３　TEL 03-3469-7121　FAX 03-3485-8834
新　潟　〒950-2004　新潟市西区平島３７９－１　TEL 025-230-6393　FAX 025-230-6394
長　野　〒380-0928　長野市若里１丁目２３－１１　TEL 026-228-4334　FAX 026-227-4328
http://www.ps-group.co.jp